



**すくみ足が出現する  
パーキンソン病の  
症例を経験して**

理学療法室  
理学療法士 山地康介



**ヨードホルムガーゼと  
イソジンシュガーによる  
重度褥瘡治療の経験**


医療安全対策室  
看護師 大黒千明



**事務部の取組みと  
病院経営について**


統括管理部長兼事務部長  
梅原浩一

演者



**依存症**  
—特に薬物依存について—

精神科部長 玉元 徹



第2部座長 内科部長 川村 一子

各部署の皆様、今年も発表お疲れ様でした。個人的には栄養部の発表が、普段見ることのない場所が見えておもしろかったです。全体には認知症の話題が増えたような印象を受けました。認知症は社会的にも大きな課題であり、今後も取り組んでいかなければならないものだと感じました。来年度も一緒にがんばりたいと思います。



**開院  
47周年  
記念祝賀会**  
グレース浜すし  
H28.4.20 (水)

統括管理部長 梅原 浩一

4月20日(水) 午後6時30分

よりグレース浜すしに於いて、開院47周年記念祝賀会が行われ、今年も約120名の職員が出席しました。毎年の恒例行事としてすっかり定着していますが、今年はさらにパワーアップ！ 所謂、無礼講モード突入でした。

昨今の医療業界を取り巻く環境は厳しいものがあますが、本日午後には院内発表会が行われ、各部署から日頃の取り組みや成果など前向きで大変有意義な話が伺えました。準備段階から発表者、聴講者の熱心な姿勢には毎年感心させられます。

そして、この祝賀会です。まさにオンとオフの切替えと申しませうか？ こちらも感動の出し物があり、アンコール、写真撮影など大いに盛り上がっていました。明るく、楽しく、前向きに、南国病院は高知県一のアットホームな病院をめざし、今年の祝賀会も明日への活力となる楽しい時間を過ごすことが出来ました。



## 高知大学医学部附属病院 感染制御チーム

H28.3.2(水)

感染制御部 部長	武内 世生 先生
感染管理認定看護師	有瀬 和美 氏
臨床検査技師	森田 珠恵 氏
薬剤師	岡崎 萌水 氏



感染制御チーム 臨床検査室室長 小松 則子



昨年の感染対策研修会で武内先生を講師にお招きした事がご縁で、今回、熱望していた高知大学医学部附属病院感染制御チームのラウンド支援を受ける機会を得ました。お話を進める中、武内先生ほか3名の先生方が来て下さる事になり、あえてラウンド支援を受ける事は職員には予告せず、普段通りの業務、ありのままの状態を見て頂きました。病棟・外来部門の他、薬剤部・栄養部・検査室と院内を広くラウンドして下さい、同行した私達も大変勉強になりました。

日頃、我々で行うラウンドでは気付かない点や改善策が見つからず見過ごしている点なども含め、当院の感染対策の実施状況、物品や環境などの管理状況もチェックしてもらいました。

同日、ラウンドの総評および研修をして頂いたことでみんなの意識も高まり大変有意義な時間でした。

チーム医療が浸透してきた今、感染対策の中で医師・看護師・薬剤師・検査技師を中心としたチームで行うラウンドは、感染制御チーム活動の重要な業務となっています。外部の方に評価して頂いたことで、問題点、改善点がはっきりしました。これから1つずつ改善に向けて取り組み、感染対策の質改善に繋げていくことが重要です。

武内先生をはじめ感染制御チームの皆様には心よりお礼申し上げます。



## 医療ガス講習会

南国病院本館  
多目的ホール  
H28.2.19(金)

学術研修委員会委員長 精神科部長 玉元 徹

医療ガスの研修でしたが、例年通り、四国アセチレン工業株式会社の榎田正利さんに講習をしていただきました。治療上命をつなぐ大事な医療ガスですが、扱いを厳重にしておかないと、大きな事故につながるため、しっかり研修する必要があります。今回もビデオやイラストの詳細なスライドを提示していただいて、わかりやすく聞くことができました。今回もかなりの出席率で、職員の皆さんには、医療ガスの重要性や注意点についてご理解いただけたと思っております。

今後は当院がもっと時間を多く構えて、実際の医療ガスの現場を確認しながらの研修も織り交ぜて行けるとよりよい研修となると考えられます。以前、一度現場の講習を行っておりますので、今後できないことではないと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

